



国立病院機構沖縄病院

連携室ニュース

基本理念

患者さまの立場を尊重し
高度で良質の医療を提供します。

2014.4.1 No. 79号

独立行政法人

国立病院機構沖縄病院

地域医療連携室

沖縄県宜野湾市我如古3-20-14

電話 098-898-2121

Fax 098-898-6433

院長就任のごあいさつ

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私こと、この度4月1日付けで石川清司先生の定年退任に伴いまして後任の院長を拝命いたしました。身に余る光栄と責任の重さをひしひしと感じているところです。今日の沖縄病院を築き上げてこられた石川名誉院長の偉大さを考えますと、引き継いだ責任の幾ばくかでも果たすべく病院職員の先頭に立って日常の診療や病院の運営に一生懸命頑張りますので皆様にはこれまでと同様にご指導・ご鞭撻のほどお願いいたします。また副院長時代に大変お世話になりましたことあらためて感謝を申し上げます。なお後任の副院長には大湾勤子緩和医療科医長が就任しました。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

さて当院は今後も国の政策医療を担うことに変わりはなく沖縄県の地域医療の枠組みの中で結核を含む『呼吸器センター』、筋ジスを含む『神経・筋センター』、『肺癌治療センター』的な役割を担ってきました。セーフティネット系医療を含むこれらの特化した機能の診療内容をさらに充実させるため大型機器を整備し診断技術の向上と患者さんの要望に応えられるような治療成績のさらなる向上に邁進します。

当院の短期目標は1. 神経内科病棟の建て替えです。新病棟への移転を契機に今後も増えることが予想される神経内科疾患治療の拠点として診療領域の拡大と専門領域のさらなる向上、高度で良質の医療の提供に努めます。2. 肺癌診療の拠点として気管支鏡治療・低侵襲手術・放射線治療・化学療法を駆使した総合的な医療を提供します。3. 地域医療連携室の強化は必須です。大型医療機器(MRI、CT)の共同利用を通して他医療機関との連携を深めたいと思っています。4. 緩和ケア医療をさらに充実させます。緩和ケア専門医・心療内科医・認定看護師を含む職種を超えたチームで取り組みます。5. 臨床研究部を強化します。部長を先頭に神経・筋病態生理、呼吸器疾患、癌の集学的治療、画像・内視鏡の各研究室長・室員が一体となって課題に取り組みます。6. 最終的には特定癌拠点病院を目指すべく職員一丸となって努力いたしますので皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

国立病院機構沖縄病院

院長 川畑 勉





副院長就任のごあいさつ

2014年4月からの診療報酬改定を見ると、国策として在宅療養を推進していることがよくわかります。

しかし高齢化が進む中で、自宅で療養といっても介護者の負担も増える現実があり、施設入所を希望される方が増えています。これまで以上に病院、診療所、施設、在宅支援事業所が連携を取って患者さんが安心して過ごせる療養場所が求められています。また、質の高い医療を提供するためには、専門性を求めて各病院間の連携がスムーズにいくことが前提となります。そのため、当院でも連携室が窓口となって、関係機関と顔の見える関係づくりを築いていきたいと考えています。私は今年度より副院長を拝命しました大湾です。

私も連携室も発展途上です。耳を「ダンボ」にして皆さんの声を聴き、適切に必要な情報をタイムリーに発信できるようスタッフ一同、新年度思いを新たにしてお取り組みしていきます。どうかお気軽におたずねください。

国立病院機構沖縄病院
副院長 大湾 勤子



平成25年度第二回難病医療従事者研修について

沖縄病院リハビリテーション科部長 諏訪園 秀吾

平成26年3月20日14:00-16:00に標記の研修会が、沖縄県総合福祉施設ゆいホール5階の会議室で開かれた。春の嵐ともいふべき急な強風と大雨にも関わらず70人あまりという多くの参加人数が得られた。

国が定めた難病特別対策推進事業では、都道府県(一部は保健所)を実施主体として次のような4つの事業が行われている。

A) 難病相談・支援センターの開設

患者や家族からの難病医療に関する相談に応えるもの(当県ではNPO法人アンビシャスが行っている:参考資料1)

B) 重症難病患者入院施設確保事業

難病患者が重症化した際に入院する病床を確保する目的で、「難病医療連絡協議会」を各都道府県に設置し、「難病医療拠点病院」を県に1つ、「難病医療協力病院」を二次医療圏毎に1つ、その他に「難病医療一般協力病院」を申請に基づき複数指定して、「難病医療専門員」がその間をとりもち、どのようなケア(レスパイト入院を含めて)が個々の患者に必要であるかを相談に基づいて判定し、必要ならば入院病床の案内をするというもの。

C) 難病患者地域支援対策推進事業

在宅の重症難病患者の療養を支援するため、計画策定・訪問相談・訪問指導などの事業が都道府県または保健所を実施主体として定められている。



D) 神経難病患者在宅医療支援事業

神経難病について神経内科を専門としない在宅医療の担当医が相談できる制度。

このなかで標題の研修はB)の一環として開かれたものである。この事業は、他の都道府県に比較して沖縄では発足が遅れていたが、紆余曲折・難産の末ようやく平成24年度に誕生して活動が続けられているものであり、沖縄県では開始当初から当院が「拠点病院」に任命されている(参考資料2)。この連絡協議会の活動として年に2回、難病医療やネットワークについて学習する機会を設けることが義務付けられており、今年のご二回目の研修が標記のごとく開催されたものである。

今回の研修会では次のような3つの発表・講演がなされた。

1) 新里恵難病医療相談員は、沖縄県難病医療相談の実際の相談件数を報告し、県の事業として行っている重症難病患者入院施設確保事業における申請書類の作成やこの事業に基づく入院の流れについて説明した。

2) 認定 NPO 法人アンビシャス 沖縄県難病相談・支援センターの照喜名通氏は、県の事業から補助金を得て行われている「えんぽーと」と名付けられインターネット上に構築された、「医療介護多職種連携ツール」について説明した(参考資料3)。すなわち、「えんぽーと」を活用することで、電話や手書きでのやり取りがWEB上で実現できるので、効率が良い連絡が可能になること、また、メールなどと違い患者単位で情報が整理されているので、過去の情報を探す手間がなくなり種々の連絡・情報閲覧に要する時間が短縮できることなどを報告した。課題としては、連携先が「えんぽーと」を導入しないと連携にならないことを挙げた。「まだあまり広くは知られていないので、職場や在宅移行カンファレンスなどでの説明会など依頼が御座いましたら、日程や参加人数等をご連絡頂ければ10分程度でも説明会をさせていただきます」とのことであった。

3) 諏訪園秀吾神経内科医長は、「ALSをどう理解してどう対処するか」と題して1時間講演し、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の教科書的な説明に始まり、その原因検索がどこまで進んでいるかということ・前頭側頭型認知症の様相を呈する患者が要ること・どのようなケアを行っていくべきかということなどを説明した。複数の質疑応答が行われ、終始和やかな中にも真剣な討議がなされ、非常に盛会のうちに終了した。

当県における難病医療の地域連携はまだまだ発展途上といわねばならない。今後とも地域一体となつての多角的な学習・連携強化などを通じた、地域全体の診療レベルの向上が望まれるところである。課題は山積しているが少しずつ前進していきたいものである。



参考資料

- 1) 沖縄県難病相談・支援センター アンビシャス <http://www.ambitious.or.jp/>
- 2) 沖縄県難病医療拠点病院事業ホームページ(沖縄県指定難病医療拠点病院) <http://www.okinawa-hosp.jp/UserFiles/File/pdf/nanbyoushitei.pdf>
- 3) えんぽーと www.enport.jp 連絡先 認定NPO法人アンビシャス 沖縄県難病相談・支援センター 098-951-0567 担当:照喜名通



外来診療科担当医表

診療受付時間：内 科 8時30分～12時まで
 外 科 8時30分～15時まで
 胸 部 精 査 8時30分～16時30分まで (12時以降は外科)

平成26年4月1日現在

曜日		月	火	水	木	金
内科	呼吸器内科 (紹介状あり) (8:30~12:00)	仲本 敦	知花 賢治	【外科担当】	大湾 勤子	【交代制】 ①仲本 敦 ②稲嶺 盛史 ③知花 賢治
	呼吸器内科 一般内科 禁煙外来 (紹介状なし) (8:30~12:00)	久場 睦夫 知花 賢治	仲本 敦	久場 睦夫 【アスベスト外来】 久場 睦夫	知花 賢治	久場 睦夫 仲本 敦
	消化器内科 (8:30~12:00)		樋口 大介 (8:30~11:00)	樋口 大介	樋口 大介	
緩和医療外来		久志 一朗	大湾 勤子		大湾 勤子 久志 一朗	
神経内科	新患 (予約制) (8:30~12:00)	諏訪園 秀吾 城戸 美和子	吉田 剛	【休診】	末原 雅人 中地 亮	藤崎 なつみ
	再診 (予約制)	藤崎 なつみ	末原 雅人 中地 亮	末原 雅人	城戸 美和子	諏訪園 秀吾 吉田 剛 城戸 美和子
放射線科		大城 康二	大城 康二	大城 康二	大城 康二	大城 康二
		※ CT・MRI・RI検査・放射線治療(リニアック)は随時受付				
外科	外 科 呼吸器外科 血痰外来 肺ドック (8:30~15:00)	河崎 英範 久志 一朗 (消化器)	石川 清司(午前) 伊地 隆晴(午後)	石川 清司 饒平名 知史	川畑 勉 久志 一朗 (消化器)	平良 尚広
	特定・がん検診 【石川 清司】	9:00~15:00	9:00~15:00	9:00~15:00	9:00~15:00	9:00~15:00
整形外科				豊原 一作 【再診のみ】 (13:00~16:00)		
専門外来	【乳腺・甲状腺外来】 堤 綾乃 (予約制) (14:00~17:00)	【 乳腺外来 】 野村 謙 (予約制) (13:00~17:00)	【 循環器専門外来 】 西澤 健吾 (9:00~12:00)	【ピロリ菌外来】 樋口 大介 (13:00~15:00)	【ピロリ菌外来】 樋口 大介 (13:00~15:00)	
			【ピロリ菌外来】 樋口 大介 (13:00~15:00)	【糖尿病外来】 池間 朋己 (9:00~12:00)		
			【 総合相談 】 石川 清司 (13:00~16:00)			

※待ち時間短縮のため、すべての診療で日時の予約をお勧めいたします。
 ※ご不明な点・予約変更等ありましたら下記へお問い合わせ下さい。
 ※お問い合わせ時間は、9:00~17:00までとなっております。
 ※セカンドオピニオンは病院間の調整で予約を受け付けております。
 ※『乳がん検診』につきましては月曜・火曜の午後のみ受付となります。



独立行政法人国立病院機構 沖縄病院

〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3丁目20番14号

TEL 098-898-2121 (代)

FAX 098-897-9838